

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2018年12月28日

保護者アンケート回収率72.93%（保護者の評価欄は回収分で締める割合です。）

事業所名：すまいる・きつず松陽

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員10名が、基準に基いたスペースの確保できています。活動内容により場所を分けたり、戸外活動を行い充実したスペースの確保に努めています。	はい…96.3% どちらともいえない…3.7%	保護者送迎時やニーズに応じて随時児童の様子を見学していただけるように対応しています。
	2 職員の適切な配置	基準の人員配置で子ども達の様子に配慮しながら安全に過ごせるようにしています。	はい…77.8% どちらともいえない…11.1% わからない…11.1%	児童の様子を見守りながら、臨機応変な職員の対応していけるように努力していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	本事業所のある建物がエレベータのない雑居ビル3階という環境であることからバリアフリー化されていません。事業所内においては、わかりやすい構造化が課題にあがっており整備中です。情報伝達方法としては、視覚的支援を取り入れながら見通しを持って活動に参加出来るように取り組んでいます。	はい…88.9% どちらともいえない…7.4% わからない…3.7%	活動用具や遊具の整理を行い療育室の構造化を行うよう努めていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	業務内容に清掃を行うように盛り込み清潔で、心地よい生活空間を確保できるように努めています。	はい…92.6% どちらともいえない…7.4%	今後とも継続して清潔で、心地よく過ごせる場作りに努力していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の業務の振り返りや月1回のスタッフ会議において積極的に意見交換を行い業務改善につなげています。		今後もよりよい会議の持ち方を追求し、各職員の考えを積極的に引き上げることが出来るようにすることで質の高い支援を目指していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	2016年10月に第三者評価機構による評価を受けました。評価内容はセミナーを開催し、全従事者で確認し業務改善につなげています。		外部評価を受けながら常務内容の検討する機会もち、業務改善を行っていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	各自が社外研修に参加し、研修内容の共有出来るようにし、日々の支援に取り入れるようにしています。		社内研修の年間計画を立て充実させていきます。また、社外研修にも積極的に参加出来るように情報収集を行うと共に、研修報告の共有が充実できるように取り組み、支援に繋げていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	年2回のモニタリング及び日々の支援の中で知りえたニーズや課題についてミーティングやスタッフ会議で分析し、放課後等デイサービス計画の作成を行っています。	ケース会議等の会議やミーティングにおいて、	
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	面談等で児童や保護者のニーズを確認し、スタッフ会議などで検討していきながら個別活動と集団活動のくみ合わせをた内容の放課後等デイサービス計画を作成しています。	はい…100% ・よく分析されている。	
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	発達支援・家族支援・地域連携など大項目を決め、それぞれに具体的目標を設定し、支援内容や留意項目・支援機関などを記載しています。		今後も子どもの状況を確認しながら活動内容を検討して計画に盛り込んでいきます。 今後も継続して行っています。
適切な支援の提供 t (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	保護者の同意が得られた放課後等デイサービス計画は全職員と共有するようにし、個別記録表(フローシート)にも支援内容の記載を行い日々の活動で計画内容が確認できるようにまた、記録に残せるように行っています。	はい…96.3% わからない…3.7%	児童発達支援管理責任者が日々の活動や取り組み計画の段階で適切な支援が行えるように支援内容の説明を丁寧に行っていくように心がけていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	月1回のスタッフ会議において活動プログラムを全員で確認しながら、担当を決めて進めています。		年間計画を充実させ、各児童の支援内容に沿った支援が出来るようにプログラム立案を行い、活動展開できるように努めています。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日・長期休暇では、サービス提供時間が異なります。長期休暇中には、工場見学等日常体験できない事を計画し、子ども達が経験値の向上を目指して取り組んでいます。		今後も子ども達や保護者のニーズを確認しながら、さまざまな経験値の向上を目指し支援していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	伝統行事などを意識しながら、季節を感じられるようにプログラムを展開しています。子ども達の声も大切に取入れています。月1回の絵画教室は外部講師に来て頂いています。	はい…96.2% どちらともいえない…3.7%	外部講師やボランティアなどの協力を得ながら、活動プログラムを更に充実させていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	前日の振り返りを踏まえ、ミーティングにおいて支援内容の役割分担の確認を行うように日々取り組んでいます。		今後も子どもの状況や活動状況の確認を行いながら活動展開出来るようにしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
こ	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日々の振り返りは、日報に記載し記録として残し、その日の勤務外の職員も確認が出来るようにしています。定例のスタッフ会議では、1か月の取り組みの振り返りを全員で行い、情報共有を行っています。	今後も継続して行っています。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援に関しては、個別記録表(フローシート)と、特記事項は日報やヒヤリハットで記録として残し、ケース会議やスタッフ会議において検証・改善に努めています。	今後も継続して行っています。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的(年2回)及び必要に応じてモニタリング・ケース会議を実施し、サービス計画の見直しの必要性を判断しています。	今後も継続して行っています。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が可能な限り積極的に参加し、保護者・相談専門員・関連事業所・学校と連携を積極的に参加しています。	今後も積極的に参加していきます。また、状況によっては直接支援している職員の参加出来るようにしていきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	事業所利用前の環境については、アセスメントの中で確認を行い必要に応じて、関係先との間で情報共有出来るように努めています。	今後も継続して行っています。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する子ども達については、それまでの支援内容等の情報を積極的に提供しています。	今後も継続して行っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	自立支援者協議会などに参加し、児童発達支援センター等専門機関との連携、研修等情報の収集を行っています。職員への情報伝達が十分に行っていないところが今後の課題です。研修のお知らせについては、回覧し周知するようにしています。		専門機関との連携など職員への
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現状では、障害のない子どもと活動する機会の提供には至っていません。地域の公園などに出かけた時に出会うことはありますが、交流することは難しいようです。	はい…37.0% どちらともいえない…25.0% いいえ…3.7% わからない…29.6% 無回答…3.7% ・平日 月3～4日しか利用していない	児童・保護者のニーズを確認しながら、検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	当事業所の入居しているビルにはさまざまな店舗があり送迎時など出会う機会には、職員、児童共に普段から挨拶するように心がけています。事業所の行事(ハロウィン)に協力依頼し、子供たちとの交流をする機会もつくっています。		地域に開かれた事業所運営を目指して積極的に地域活動に参加出来るようにしていきます。
保護者への説明責	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容、利用者負担等については、重要事項説明書に記載し、契約時に内容と説明をしています。また、随時不明な点については、内容について確認を行い丁寧に説明するように努めています。	はい…96.3% 無回答…3.7%	今後も継続して行っています。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時に放課後等デイサービス計画を作成し、6か月一回(必要な際には随時)計画の見直し、児発管から説明を行っています。	はい…100%	今後も継続して行っています。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	連絡帳や面談時に事業所での様子をお伝えしています。相談や困りごとには随時向き合い、一緒に考えお子様と向き合い方や保護者のストレスを和らげるように相談に応じています。	はい…62.3% どちらともいえない…22.2% いいえ…3.7% わからない…11.1% ・平日 月3～4日しか利用していない為 ・どんな内容のことでしょうか？	面談時などに保護者のニーズを確認しながらお伝えできるように努めています。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々連絡帳や送迎時において状況を伝えていきます。また、モニタリングの時には、詳しく説明し、共通理解をしています。	はい…100%	今後も継続して行っています。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	日々連絡帳や送迎時や面談時に保護者の悩みなどに耳を傾けるように心がけています。また、随時、相談専門員等の関連機関との連携を行いながら対応出来るようにしています。	はい…85.2% どちらともいえない…7.4% わからない…7.4%	これまで以上に保護者の思いに寄り添えるよう丁寧な対応に全職員で努めています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
連携支援	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年1回の保護者会の開催を行っています。父母の会活動には至っていません。	はい…74.0% どちらともいえない…11.1% わからない…14.8%	定例の保護者会を継続して行い、保護者のニーズを確認していきながら、保護者同士の連携支援については検討していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情・相談対策マニュアルを作成し、それに基づき迅速かつ適切に対応できるようにしています。契約時には、本事業所だけでなく行政機関を含めた苦情窓口を必ず保護者にご案内するようにしています。	はい…85.2% どちらともいえない…7.4% わからない…7.4%	今後は、契約時以外にも保護者会や面談時等にも苦情窓口の説明を行っていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	言葉だけでなく視覚支援カードなど視覚的な支援を使うなど、個々の状況に応じた意思疎通や情報伝達ができるように配慮しています。	はい…96.3% どちらともいえない…3.7%	今後もスムーズな意思伝達方法についての情報収集を行いながら、個々の状況に応じた対応ができるように努めていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回お便りを発行し、日々の活動風景を写真も入れて伝えています。行事予定については、年間計画を年度初めの保護者会にてお伝えしています。日々の連絡は連絡帳にて行い、また、送迎時や電話での連絡も随時行っています。	はい…88.9% どちらともいえない…3.7% わからない…7.4%	今後も継続して行い、内容がくわしく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いについては、契約時に書面で同意を頂き、写真の取り扱いについても事前の確認を行うようにしています。書類の取り扱いについても書庫の施錠を行い十分な対応に勤めています。	はい…96.3% どちらともいえない…3.7%	今後も個人情報の取り扱いには気をつけていきます。
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルの策定し事業所に常設し、職員に周知しています。保護者への周知までは至っておりません。	はい…81.5% どちらともいえない…7.4% わからない…11.1%	今後は保護者会などで保護者にも周知し、情報共有していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	日ごろから災害についてのニュースなどに触れ、意識付けできるように取り組んでいます。今年度は、9月に火災避難訓練を行いました。また、毎年長期休暇を利用し、加古川市防災センターに行き地震体験、煙避難体験、水消火器での消火体験を全員で経験しています。	はい…92.6% わからない…7.4%	放課後等デイサービス計画に災害時の避難場所を記載し、災害発生時に備えた対応について説明を行うようにしています。(今年度11月以降)避難訓練や施設見学等については連絡帳やお便りでお知らせするようにしていきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止マニュアルを策定し、職員への周知徹底に努めています。社内研修は不十分なところもありますが、普段の振り返りやスタッフ会議の中で意識出来るようにお互いの支援姿勢について話し合いを持つように心がけています。		年間社内研修計画に虐待防止を盛り込み周知徹底していくようにし、社外研修にも積極的に参加出来るように努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
の 対 応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	日々の振り返りなどで児童の様子を把握しながら、会議にて確認・検討し、放課後等デイサービス計画に記載しています。その内容を保護者に説明し、同意を頂いています	継続して取り組み、身体拘束に対する認識の確認を行い適切な支援が行えるように努めていきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーについては、契約時のアセスメントの中で聞き取り、対応方法を保護者に確認しています。該当児童の利用日には、その他の児童のおやつも同様に配慮しています。	継続して取り組んでいきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例が発生した際には、振り返りで内容を確認し書面に記入し事例集としてファイリングしています。	会議等、全職員で検討する機会を持ち安全に過ごせる環境作りに努めていきます。